



アクセス ポイントの設置

AP の設置には、次の高レベルなタスクが関係します。

- [パッケージの開梱](#) (1 ページ)
- [設置前の確認と設置のガイドライン](#) (5 ページ)
- [アクセスポイントの取り付け](#) (6 ページ)
- [アクセスポイントへの電源供給](#) (7 ページ)

パッケージの開梱

パッケージの内容

各 AP パッケージには次の品目が含まれています。

- CW9172I AP X 1
- 取り付けブラケット : AIR-AP-BRACKET-1=
- 天井レールクリップ : AIR-AP-T-RAIL-R

アクセス ポイントの開梱

手順

-
- ステップ 1** 梱包を解いて、アクセスポイントと選択した取り付けアクセサリキットを梱包箱から取り出します。
 - ステップ 2** 梱包材を出荷用の箱に戻し、後で使用する場合に備えて保管しておきます。
 - ステップ 3** 注文品がすべて揃っていることを確認します。欠品または損傷品が見つかった場合は、製品の購入代理店まで問い合わせてください。
-

注文可能なシスコ製アクセサリ

次のアクセサリをシスコから別途注文できます。

- AP を取り付けるための AP 取り付けブラケット

取り付けブラケット	説明
AIR-AP-BRACKET-2=	電気またはネットワークボックス用、天井マウントの上
AIR-AP-T-RAIL-F=	同一面型天井グリッドクリップ
AIR-CHNL-ADAPTER=	T レールチャネルアダプタ

- パワーインジェクタ（Power over Ethernet（PoE）が使用できない場合）

電源モジュール	説明
AIR-PWRINJ6=	¹ 電源仕様：30W、55VDC 詳細については、 パワーインジェクタのデータシート を参照してください。
MA-INJ-6-x	Meraki 802.3bt PoE インジェクタ 電源仕様：60W、55VDC 詳細については、 パワーインジェクタのデータシート を参照してください。
MA-PWR-50WAC	AC 電源アダプタ 詳細については、 パワーインジェクタのデータシート を参照してください。
CW-INJ-8	10Gbps mGig PoE インジェクタ 詳細については、 パワーインジェクタのデータシート を参照してください。

¹ 802.3af を使用すると、システム機能は無効になります。

PoE が使用できない場合は、802.3at パワーインジェクタが使用されます。

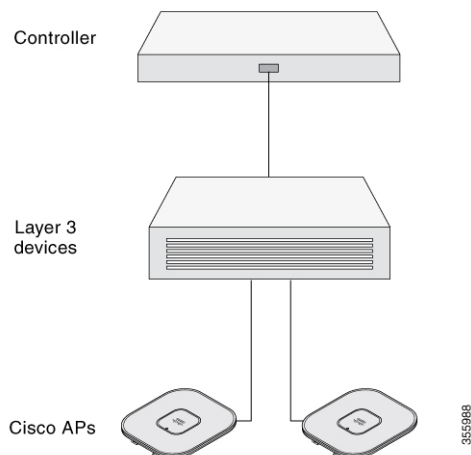
設置前の設定

次の手順は、AP の設置と初期操作が正常に行われるようにするためのプロセスを説明するものです。



- (注) 設置前の設定は、オプションの手順です。ネットワークコントローラが適切に設定されている場合は、AP を最終位置に取り付けて、そこからネットワークに接続することができます。詳細については、[ワイヤレスネットワークへのアクセスポイントの展開](#)を参照してください。

次の図に、設置前の設定を示します。



次の操作を行ってください。

始める前に

シスコのコントローラがネットワークに接続されていることを確認します。該当するリリースの『[Cisco Catalyst 9800 Series Wireless Controller Software Configuration Guide](#)』に記載されている CLI または GUI の手順を使用します。

- AP、シスココントローラ管理、および AP マネージャインターフェイス間のレイヤ 3 接続を有効にします。
- AP が接続するスイッチを設定します。詳細については、ご使用のリリースの『[Cisco Wireless Controller Configuration Guide](#)』を参照してください。
- ネットワーク上で DHCP が有効であることを確認します。AP は、DHCP を介して IP アドレスを取得する必要があります。



- (注) AP は、デフォルトルータ（ゲートウェイ）が DHCP サーバー上に設定されており（AP が自身のゲートウェイ IP アドレスを受け取れるようにする）、ゲートウェイ ARP が解決される場合のみ、DHCP サーバーから IP アドレスが割り当てられます。

- CAPWAP UDP ポートがネットワーク内でブロックされないようにします。

- AP は、コントローラの IP アドレスを検出する必要があります。これには、DHCP、DNS、または IP サブネットブロードキャストを使用します。このガイドでは、コントローラの IP アドレスを提供する DHCP 方式について説明します。その他の方式については、製品マニュアルを参照してください。詳細については、[DHCP オプション 43 の設定](#)も参照してください。

手順

ステップ 1 サポートされている電源を使用して AP に電力を供給します。

[アクセスポイントへの電源供給 \(7 ページ\)](#) を参照してください。

- AP はクラウド接続を確認し、Cisco Meraki ダッシュボードへの接続を試みます。
- AP がクラウド接続を見つけられない場合、AP は高速オフライン移行を使用して Cisco Catalyst 9800 コントローラを探します。AP では、移行のために DHCP、DNS、および L2 検出メカニズムが使用されます。詳細については、「[Global Use Access Points](#)」[英語]を参照してください。

(注)

AP がコントローラに接続しようとする際、サブネットからクラウド接続してはいけません。AP が Cisco Meraki ダッシュボードに追加されると、後でコントローラに移行できます。

AP がコントローラを検出すると、ファームウェアイメージのダウンロードを実行して再起動します。

ステップ 2 設置前の設定に成功すると、ステータス LED が緑色になり、通常の動作を示します。AP を接続解除して、ワイヤレスネットワーク上の配置予定場所に取り付けます。

ステップ 3 AP が通常の動作を示さない場合、電源を切り、設置前の設定を繰り返します。

(注)

レイヤ 3 アクセスポイントを Catalyst 9800 コントローラとは別のサブネットに設置する場合、次のセットアップが構成されていることを確認してください。

- AP をインストールするサブネットから DHCP サーバーに到達できること。
- コントローラに戻るルートがサブネットにあること。
- このルートで、CAPWAP 通信用の宛先 UDP ポート 5246 および 5247 が開かれていること。
- 第 1、第 2、および第 3 のコントローラに戻るルートで、IP パケットのフラグメントが許可されていること。

- アドレス移動を使用する場合、アクセスポイントおよびコントローラに、外部アドレスへの静的な 1 対 1 の NAT があること。ポートアドレス変換はサポートされていません。

設置前の確認と設置のガイドライン

アクセスポイントを取り付けて導入する前に、サイトの調査を行って（またはサイト計画ツールを使用して）アクセスポイントを設置する最適な場所を判断することを推奨します。

ご使用のワイヤレス ネットワークについて次の情報を知っておく必要があります。

- アクセス ポイントの場所
- アクセスポイント取り付けオプション：
 - 吊り天井の下面
 - 水平な平面の上
 - デスクの上



(注) 吊り天井の上面にアクセスポイントを取り付けることもできますが、取り付け用部品を追加購入する必要があります。詳細については、[アクセスポイントの取り付け（6 ページ）](#)を参照してください。

- アクセスポイントの電源オプション：次のオプションのいずれかを使用して AP に給電できます。
 - シスコ認定パワーインジェクタ
 - サポートされているスイッチを備えた PoE
 - シスコ認定 AC 電源アダプタ



- (注)
- Underwriter Laboratories (UL) 承認と掲載されている電源アダプタは、次の最小仕様を満たす必要があります。定格出力 42.5 ~ 57 Vdc、最小 0.81 ~ 1.08A、最低 50°C の TMA、高度は 3048m 以上。
 - 802.3afを使用すると、すべての無線がオフになります。イーサネットは 1 GbE にダウングレードされます。Wi-Fi クライアント無線と IoT 無線がオフになっています。

- 動作温度 :
 - CW9172I : 0 ～ 50 °C (32 ～ 122 °F)



- (注)
- 周囲温度が 40 ～ 50°C (104 ～ 122°F) を超える環境に AP を設置すると、アクセスポイントの構成が変更されます。
 - 2/5/6, 802.3at : 2.4 GHz + 5 GHz + 6 GHz で 1x1:1、または 2.4 GHz (1x1:1) + 5 GHz (2x2:2) に無線が調整されます。イーサネットポートのリンクは 1 Gbps のままで、USB は無効のままです。



- (注)
- AP が PoE+ または 802.at パワーインジェクタによって給電されている場合、その AP は温度が 40°C (104°F) に達するまで、すべての機能が有効な状態で動作できます。

- コンソールポートを使用したコンソールへのアクセス
- 長さ 1 メートル以下のコンソールケーブルを使用することをお勧めします。



- (注)
- 終端されていないコンソールケーブル（デバイスまたは端末に接続されていない）、または長さが 1 メートルを超えるコンソールケーブルを使用すると、起動中に AP で問題が発生する可能性があります。

アクセスポイントの場所を示すサイトマップを作成し、各場所のデバイスの MAC アドレスを記録して、その記録をワイヤレスネットワークを計画または管理している担当者に渡すことができるようにすることを推奨します。

アクセスポイントの取り付け

Cisco Wireless 9172I Wi-Fi 7 アクセスポイントは、次の場所に取り付けることができます。

- 吊り天井
- 硬い天井
- 壁面
- 電気ボックスまたはネットワークボックス
- 吊り天井上面

AP の取り付けに関する詳細な手順については、次のサイトでアクセスポイントの取り付け手順に関するドキュメントを参照してください。

http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/wireless/access_point/mounting/guide/apmount.html

次の表に、AP でサポートされている標準取り付け部品を示します。

表 1: AP を取り付けするためのブラケットとクリップ

取り付けタイプ	部品番号	説明
ブラケット ²³⁴	AIR-AP-BRACKET-1	ロープロファイルブラケット：天井取り付けに使用（これはデフォルトのオプションです）
	AIR-AP-BRACKET-2	ユニバーサルブラケット：壁面または電気ボックスへの設置に使用
クリップ	AIR-AP-T-RAIL-R	天井グリッドクリップ（埋め込み型）（これはデフォルトのオプションです）
	AIR-AP-T-RAIL-F	天井グリッドクリップ（同一面型）
	AIR-CHNL-ADAPTER	チャネルレール天井グリッドプロファイル用追加アダプタ

² ネジ穴を 4 つ以上使用して AP を取り付けてください。

³ AIR-AP-BRACKET-3 は、Cisco CW9172I アクセスポイントとの互換性がありません。

⁴ サードパーティ製の「タイル内」取り付けオプションを使用することもできます。詳細については、アクセスポイントのデータシートを参照してください。

取り付けブラケットからはずれる可能性がある場所に AP を取り付けるときは、AP の背面のロックの掛け金を使用して、ブラケットにロックします。

アクセスポイントへの電源供給



注意

Underwriters' Laboratories (UL) 準拠の PoE 電源を使用して AP に給電されていることを確認してください。ユニットは、外部プラントにルーティングせずに PoE ネットワークにのみ接続する必要があります。



(注)

実際の消費電力は、アクセスポイントの使用状況によって異なる場合があります。適切な電力ネゴシエーションができるように、Link Layer Discovery Protocol (LLDP) /Cisco Discovery Protocol が有効になっていることを確認することを推奨します。

電源	2.4 GHz 無線	5 GHz 無線	6 GHz 無線	リンク速度	USB	PoE 最大電力消費
802.3bt (クラス 5) (UPOE)	2 X 2	2 X 2	2 X 2	2.5 Gbps	あり	30.5W
802.3at (PoE+)	2 X 2	2 X 2	2 X 2	2.5 Gbps	なし	25.5W
802.3af (PoE)	1 x 1	-	-	1 Gbps	なし	12.95 W

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。